

## 子育て支援計画（平成22～26年度）進捗状況調査票

### 2 おとなになることを支える

#### 2 - 1 心身の自立

所管課番号	番号	施策・事業名及び内容	継続/新規	22.4月組織改正	22年度	
				担当課	実績	具体的な取り組み内容
0701	1	青少年支援事業の実施の検討	継続	子育て支援課	継続	子どもの権利に関する条例策定委員会において調査・検討
1999	重-6	「ニート」や「ひきこもり」等の青少年の抱える問題について担当する部署を充実し、各関係機関・庁内関係部署との情報交換や連携を強めて、青少年の育ちを見守る環境を整備する。 青少年の就労意識の向上のための施策を実施する。		関係各課		
0605	2	タバコ・薬物・性感染症に対する正しい知識普及・啓発  青少年に広がる薬物乱用や、性感染症に対する正しい理解を深めるため、母子保健や学校教育等との役割分担を明確化し、連携を図る。	継続	健康課	充実	市報・ホームページの他、青少年など若年層が活用する携帯モバイルで周知ほか、21年度までの取組を継続した。 さらに、性感染症についての健康教育を、中学校の依頼により多摩小平保健所と一緒に実施した。中学校1校の3年生女子100人
1503				教育指導課	継続	・セーフティ教室や安全教室等の主題として取り上げて実施した。セーフティ教室を実施しない場合は、薬物乱用防止教室として特設して指導を実施した。
0702	3	乳幼児とふれ合う場づくりの推進  小・中・高校生と乳幼児とのふれ合い活動や、遊びのボランティア、ベビーシッター活動を通じて、異年齢の子どもたちの交流をすすめる。 保育園や幼稚園などが主催する行事に、小学生・中学生・高校生などが参加できるように促進する。 小学校・中学校・高校の授業等の中で、幼稚園や保育園の訪問やボランティアなどを推進する。	継続	保育課	継続	保育園における中高生のボランティアを受け入れた。 ・ボランティアセンターからの依頼 ・個人からの申込があった。
1503				教育指導課	実施	・各中学校の実態に応じ、職場体験で、保育園等におけるボランティア体験を実施した。
0701		(再掲) 3-2-2-(2)、4-1-1		子育て支援課	調査検討	調査検討
0701	4	入所型施設退所後の支援の検討 児童養護施設等、入所型施設での暮らしから、地域生活に移行していく青少年の支援を検討する。	新規	子育て支援課	調査検討	調査検討
0701	5	青少年の日の設定 市民全体が青少年を意識する日として「青少年の日」を設定し、青少年が中心となって企画運営するイベント等を実施する。	新規	子育て支援課	実施	市民全体があらためて青少年を意識する日として「青少年の日イベント」を実施した。
1999	重-7			関係各課		
0701	6	青少年のしゃべる場の設定 青少年が自分の感じていることや考えを表現する場としての「青少年のしゃべる場」を設定し、青少年の参加を得て運営する。	新規	子育て支援課	検討	調査検討
0701	7	見守り、支援する側の連携の強化 街ぐるみで青少年の育ちを見守り、支援していくために、家庭、学校、地域、行政が連携を強化するしくみづくりを具体的に検討する。	新規	子育て支援課	実施	青少年問題協議会において関係機関の情報交換を行った
1999	重-7			関係各課		

子育て支援計画（平成22～26年度）進捗状況調査票

2 おとなになることを支える

2 - 2 経済的自立

所管 課番 号	番号	施策・事業名及び内容	継続/ 新規	22.4月組織改正	22年度	
				担当課	実績	具体的な 取り組み内容
1503	1	学校の総合的な学習の時間等を活用した学習の推進 小中学校の総合学習の時間等を活用し、地域において社会経済活動への関わりなどを学んでいく活動を推進する。	継続	教育指導課	実施	・中学校において全校で職場体験を実施した。
0402	2	インターンシップ制度の導入の検討 市内の農・商工業者の協力を得て、高校・大学生が就職前に就労体験できる制度の導入を検討する。	新規	産業振興課	実施	昭和女子大学生8月16日より10日間1名インターンシップ実施

子育て支援計画（平成22～26年度）進捗状況調査票

2 おとなになることを支える

2 - 3 親役割を理解する

				22.4月組織改正	22年度	
所管課番号	番号	施策・事業名及び内容	継続/新規	担当課	実績	具体的な取り組み内容
0704	1 重-8	若い親世代への支援の検討  不安を抱えることの多い若年層の親たちが気軽に集い、意見交換し合えるような機会づくりをすすめる。またグループの自主的な活動を支援するしくみを整備する。	継続	子ども家庭支援センター	継続	3歳までの乳幼児とその保護者が集う子育て広場で、保護者同士が気軽に話し合い、子育てに関する情報交換ができる場を提供した。
0701				子育て支援課	検討	調査検討
0605				健康課	継続	・若年ママグループ教室 12回開催 受講者延べ人数大人 87人 受講者延べ人数子供 96人 ・若年ママグループ卒業生による自主グループ立ち上げ・運営に関わるバックアップ
0702	2	中学生のためのボランティア事業の推進  中学生が乳幼児とふれあえるように、保育園などでのボランティア事業を推進する。	継続	保育課	継続	保育園における中高生のボランティア、職場体験活動を受け入れた。 ・ボランティアセンターからの依頼 ・個人からの申込があった。
2002				社会福祉協議会	実施	夏！体験ボランティア西東京2010を実施し、中学生にボランティア体験先として保育園をはじめとする福祉施設や地域活動団体を紹介した。(小学生～社会人 101名参加)
2002	3 (再掲) 2-5、3-2-1	高校生、大学生のボランティア活動支援事業の推進  子どもと同じ目線で子どもや子育て家庭を支援する、高校生、大学生のボランティア活動支援事業を推進する。	継続	社会福祉協議会	実施	地域活動拠点を活用して大学生が子育てサロンを実施できるよう支援した。
0701				子育て支援課	検討	調査・研究

子育て支援計画（平成22～26年度）進捗状況調査票

2 おとなになることを支える

2 - 3 親役割を理解する

所管課番号	番号	施策・事業名及び内容	継続/新規	22.4月組織改正	22年度	
				担当課	実績	具体的な取り組み内容
0703	4	インターンシップ制度による高校生、大学生の子育て体験の充実 インターンシップ制度を活用し、高校生、大学生による子育てに関わる職業体験を充実する。 (再掲) 2-5、3-2-1	継続	児童青少年課	継続	本年度、武蔵野大学からのインターンシップ受け入れを行った。また、都内の学校から実習生の受け入れ及び中学生の職場体験を受け入れた。
0702				保育課	継続	インターンシップ制度ではないが武蔵野大学看護学部の小児看護学実習、保育学科の保育実習、都立高校の職場体験を受け入れた。
0701	5	小中学校での性教育の充実 子どもたちの年齢に応じた性教育が行えるよう市として取り組み、小・中・高校が連携し、性教育プログラムの構築とその推進を図る。また、家庭との連携がとれるように配慮していく。	継続	子育て支援課	検討	調査研究
1503				教育指導課	検討	・学習指導要領の改訂を踏まえ、充実について検討。
0704	6	性の尊重に向けた支援事業の検討 生き方の教育や生命尊重の教育等への取り組みを通して、性の尊重への正しい知識の醸成が図られているが、同時に現在の社会状況の中で、特に高校生の望まない妊娠の問題の解決が重要となっている。性の尊重と妊娠のしくみを学ぶ機会を増やし、啓発、相談事業を実施する。	継続	子ども家庭支援センター	実施	おおむね18歳までのお子さん自身からのさまざまな相談に応じている。要望があれば、専門機関を紹介している。
0701				子育て支援課	検討	調査検討
0605				健康課	継続 実施	若年ママグループ教室で実施及び個別相談の場を継続 中学校からの依頼を受けて、性感染症の予防、子宮頸部がん予防接種について保健所と一緒に健康教育を実施した。受講者 中学校1校の女子生徒100人

子育て支援計画（平成22～26年度）進捗状況調査票

2 おとなになることを支える

2 - 4 他者を援助する力

所管課番号	番号	施策・事業名及び内容	継続/新規	22.4月組織改正	22年度	
				担当課	実績	具体的な取り組み内容
0701	1	ボランティア活動の機会の充実 子育てサークルの活動や子育てに関連するボランティア活動の情報を提供し、地域住民が活動に入りやすいように支援する。 各種のイベントやボランティア活動等への自主的参加を促進する取り組みを実施していく。	継続	子育て支援課	実施	子育てハンドブックの発行を通じて子育てサークルを紹介した
2002				社会福祉協議会	実施	夏！体験ボランティア西東京2010を実施し、小学生、中学生、高校生、大学生がボランティア活動に参加する機会を提供した。（全参加者101名） ボランティアのつどい実行委員会に大学生に実行委員として参加してもらい、イベントの企画・運営に携わってもらい、ボランティア活動を広めるための企画をすすめてもらった。 西東京ボランティア・市民活動センターにおいて、ボランティア登録制を採り、日常的にボランティア活動を紹介している。
2002	2	ボランティア保険等の加入の促進 子育てサークルや各種のボランティア活動を安心して行えるよう、ボランティア保険等への加入を促進する。	継続	社会福祉協議会	実施	広報紙、ホームページ、メールニュースを活用してボランティア保険加入を働きかけている。
0701				子育て支援課	検討	検討
0703	3	コミュニケーション力育成プログラムの検討 児童館や公民館等で、子どもたちのコミュニケーション力を高めるようなイベントや講座等の企画・運営を子ども参加で推進する。	新規	児童青少年課	継続	公募により応募があった中学・高校生年代による企画プロジェクトを引き続き実施
1603				公民館		

子育て支援計画（平成22～26年度）進捗状況調査票

2 おとなになることを支える

2 - 5 地域への参加

所管 課番 号	番号	施策・事業名及び内容	継続/ 新規	22.4月組織改正	22年度	
				担当課	実績	具体的な 取り組み内容
0703	1	特化型児童館での地域若者交流事業の検討  青少年センター機能を付加した特化型児童館で、地域の青少年の出会いや交流の場づくりの企画・運営を子ども参加で推進する。	継続	児童青少年課	検討	建替後の下保谷児童センター及びひばりが丘児童センターは中高生年代の居場所づくりを子ども参加で検討した。
2002	2	高校生、大学生のボランティア活動支援事業の推進(再掲)  子どもと同じ目線で子どもや子育て家庭を支援する、高校生、大学生のボランティア活動支援事業を推進する。  2-3(再掲) 3-2-1	継続	社会福祉協議会	実施	地域活動拠点を活用して、武蔵野大学の学生の協力を得て、親子の居場所づくりを行った。(街中サロンにここで実施)  夏！体験ボランティア西東京2010を実施 (小学生～社会人 101人参加)
0701				子育て支援課	検討	調査・研究
0703	3	インターンシップ制度による高校生、大学生の子育て体験の充実(再掲)  インターンシップ制度を活用し、高校生、大学生による子育てに関わる職業体験を充実する。  2-3-(再掲) 3-2-1	継続	児童青少年課	継続	本年度、武蔵野大学からのインターンシップ受け入れを行った。また、都内の学校から実習生の受け入れ及び中学生の職場体験を受け入れた。
0702				保育課	継続	インターンシップ制度ではないが武蔵野大学看護学部の小児看護学実習、保育学科の保育実習、都立高校の職場体験を受け入れた。

子育て支援計画（平成22～26年度）進捗状況調査票

2 おとなになることを支える

2 - 5 地域への参加

所管 課番 号	番号	施策・事業名及び内容	継続/ 新規	22.4月組織改正	22年度	
				担当課	実績	具体的な 取り組み内容
0403	4	<p>地域行事等の活発化による子ども参加の推進</p> <p>市民まつり、市民文化祭、市民スポーツまつり、さらには地域でのまつり、青少年育成会が主催するイベントなどを活性化し、子どもたちが地域と関わり、参画できる機会を増やす。</p>	継続	文化振興課	実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民まつり：都立保谷高校のボランティア参加、田無第二中学校、谷戸小学校、谷戸第二小学校、保谷第一小学校の生徒のステージ出演、保谷小学校鼓笛隊、文化女子中学・高等学校バトン部のパレード出演ほか、多数の子ども参加あり。</li> <li>・市民文化祭：碧山小学校、都立保谷高校吹奏楽部の参加ほか各部において多数の子ども参加あり。</li> <li>・どんど焼：明保中、保二小、上向台小で実施し、多数子ども参加あり。</li> </ul>
1601				社会教育課	実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・12団体に学校施設を活用した地域生涯学習事業を委託し、子ども向けの様々なメニューを用意し、子どもたちの自由な選択性・自主性が培う事業を展開した。</li> </ul>
0703				児童青少年課	継続	<ul style="list-style-type: none"> <li>・育成会全体事業「歩け歩け会」における中学・高校生ボランティア参加の促進を図った。</li> <li>・各育成会において事業展開を支援した。</li> </ul>
1602				スポーツ振興課	継続	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体育の日に市民スポーツまつりを実施。</li> </ul>